

平成27年度

# 狛江市一般会計予算に対する討論

(要旨)

## 順調な高橋市政 財政問題の解決も視野に

賛成 自由民主党明多クラブ 小川 克美

27年度予算は中期財政計画・財政規律ガイドラインの最終年度でもあり、この計画の進捗状況を見きわめ、さらには地方消費税の歳入増による財政への影響、また市長公約の進捗度、さらには時流の流れに直面する課題について重点を置き委員会では審議した。まず中期財政計画の達成度については、順調な計画の流れが確認された。次に消費税の引き上げによる歳入増では、増額分は社会保障関係費となることが確認できた。市長公約については、事業の民間委託化、和泉多摩川緑地の都立公園化、水道道路の事業化、防犯カメラの設置、市道の計画的な改修、中学校給食、特別養護老人ホーム、8月の花火大会での川崎市の協力、その他も順調に推移していることが確認された。以上のことから、自由民主党・明政クラブは、平成27年度狛江市一般会計予算に賛成する。

## 行財政基盤の強化と 魅力あるまちづくりを

賛成 狛江市議会公明党 石川 和広

中期財政計画の守るべき財政規律(基準)も遵守されている中であって、市の課題である「財政基盤の強化と効率的な行政運営」「地域の活性化」「安心安全の確保」「子育て環境の整備」「高齢者の活動への支援」「公共施設・公共用地の有効活用」の優先的な解決を図るための予算配分が重点的になされ、それらをもとにさらなる取り組みが実施される。行財政改革の着実な推進、防犯カメラ設置の推進、災害対応体制の強化、新たながん対策としての胃がんリスク検査導入、食缶方式での中学校給食開始等も進められる。将来を見据えた上で「限られた資源を最大限、有効に活用」していく狛江市において、平成27年度予算は、引き続き硬直化した財政からの脱却を図る努力がなされつつある中においても、最大限に「選択と集中」が見きわめられている予算でもある。本予算に賛成とする。

## 将来世代へ責任ある施策の 展開が期待できる

賛成 無会派 吉野 芳子

シティセールのプレパークは市民と行政の協働事業として評価する。避難所運営協議会や福祉避難所の拡充等で独自性を発揮した。家庭福祉員の増員に向け総合的な支援を要望する。子ども家庭支援センター移転時に一時保育併設を提案する。市内の保育事業者は同等の立場でよりよい子育て育ち環境をつくってほしい。中学校のエレベーター設置と市民要望の食缶方式の温かい給食を実現した。ハイパーQ-Uアンケートは不登校など少数派の支援にならず、公平・平等性から多様な学びの保障を求める。地域包括ケアシステムは全庁的組織体制と多職種連携が早急な課題だ。地域包括支援センターは直営で4カ所目の検討をせよ。東京都長期ビジョンで新たな都立公園整備が明記され誘致の希望が見えた。必要な高齢福祉を充実するための敬老金見直しを評価する。以上原案に賛成する。

## 財政規律を守り、 後期基本計画の推進を

賛成 無会派 太田 久美子

財政の健全化に向けて策定された「狛江市中期財政計画」の財政規律・基準は、平成27年度予算でも守られ、27年度の実質公債費比率、将来負担比率は目標達成が見込まれ、財政調整基金残高、経常収支比率は目標達成に向けて取り組み考えが示された。「市民参加と協働のまちづくり」では、新たに行政提案型市民協働事業として4事業に取り組み、市民活動支援センターは平成28年4月からの開設が予定されている。認知症高齢者グループホームは小規模多機能型居宅介護サービスを併設し、障がいのある方も利用ができる。緑のまちづくりでは「界わい緑化推進プログラム」を活用し、御台橋商業会の緑化に取り組み。限られた財源の中で、後期基本計画の重点プロジェクトを推進する予算であると考える。「一般会計予算の編成替えを求める動議」に反対し、「原案」に賛成する。

## 敬老金や入浴券の切り下げ等 市民に冷たい予算

反対 日本共産党狛江市議員 西村 あつ子

消費税増税と賃金の低迷、年金の切り下げなど市民生活が大変な中、本予算では、高齢者の御長寿を祝う敬老金の支給額が削られ、自宅にお風呂のない高齢者や障がい者への月4枚の入浴券が所得制限で10人がもらえなくなる。また介護保険料が16.7%も値上げされ、多子世帯の保育料も最大で16万7千円も値上げされる。敬老金や入浴券はこれまでどおり支給・交付し、介護保険料の低所得者軽減を拡充、多子世帯の保育料の大幅値上げを抑えるべき。また母子家庭への家賃補助や介護保険利用料の低所得者軽減、生保世帯へのエアコン設置、防災ラジオ千台の貸し出しなど、切実な市民要望を予算化するべき。これら日本共産党市議員団の編成替え動議は、議員の期末手当を削減し予算全体の0.07%で実現できる。よって、編成替え動議に賛成し原案に反対する。

## 世代間の公平を考えた 財政運営を

賛成 無会派 山田 たくじ

安易に国に頼らないことを引き続き目指した予算案。東京五輪後の景気の悪化、また社会保障費の増嵩、公共施設の維持管理等々の莫大なコストを念頭に置き、将来世代に責任を持った財政運営を。歳出をコントロールする施策として、市民と行政が実現可能な具体的目標をもって取り組む可燃ごみの減量化を提案したい。中央図書館は、寄付による図書収集、書名を指定しての寄附募集を考えるべき。シルバー人材センターについては株式会社化も検討すべき。現役世代が税や社会保障費からのみずからの現在を取り分を少なくし、将来世代のために遺す道を選ぶことは政治経済学的には非常に難しいという。しかし、市長には世代間の協調をぜひ実現していただきたい。平成27年度狛江市一般会計予算原案に賛成、編成替え動議に反対する。

## 評価できないものが 余りにも多過ぎる予算

反対 無会派 正木 きよし

冒頭に高橋市長の暴言、民主主義を否定する発言に断固抗議する。評価できないものとして①副市長に事務委任をしないこと。②徴収率を上げるために嫌がらせや闇金融まがいのことをしている、時効になっている分にも催告書を出して返済を求める。③時間外勤務また指摘を受ける。④入札契約締結者多発対策後手、積算不足。⑤伝票事務記載不十分。⑥郵券管理不十分。⑦下水道使用料徴収漏れ。⑧個人情報管理の不備の指摘。⑨職員不祥事が続発と指摘。⑩おくれしている行財政改革、借入金利一日85万円。⑪市役所食堂「ジャックポット」家賃11万2753円余りにも安過ぎる、食堂の机、椅子まで市が設置、契約中身問題。⑫保育園待機児がまだ解消されず。⑬市有地(利用困難な土地)の売却促進指摘を受ける。⑭高橋市長委員会開会中に携帯を操作、私の指摘で委員長より注意処分を受ける。

## 管理監視の共通番号 付番予算は認められない

反対 無会派 市原 広子

消費税増税によるしわ寄せを受ける世帯に対しては何らかの補助が必要。その対策なきは決定的な欠損部分。反対せざるを得ない。あいとぴあセンターの大規模修繕の具体的検討では、発達センター設置と福祉避難所としての充実の両方を図れ。あいとぴあセンターを中心に(仮)ゆつくりタウンモデル指定をし、総合的なユニバーサルな共生のまちづくりを構想すべき。障がいのあることも当たり前になる社会を目指せ。決算確定による臨時財政対策債減額は必要ない。必要な政策に振り分けよ。農業政策は、有機農業を戦略的に展開せよ。共通番号制度の根幹である個人への付番及び、番号カード作成送付予算が含まれており、監視社会・管理社会の始まりであり認められない。自治体が住民の暮らしを守らなければならない点で共産党狛江市議員団の修正案は評価できるが、番号付番予算で退席。